

○産業廃棄物最終処分量削減の自主行動計画

電機・電子業界は廃棄物削減の基本的な考え方として、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進をはかり、ゼロエミッションをめざしています。また、経済産業省の業種別ガイドラインに沿った取組みと、日本経団連の環境自主行動計画〔循環型社会形成編〕に参画し、最終処分量削減の取組みを実施しています。

2009年度の4団体における最終処分量は、図に示す通り1.8万トンで、最終処分率は1.1%でした。これは、現時点での最終目標年度である2010年度の目標値（最終処分量4.6万トン以下、最終処分率2%以下）をいずれもクリアしていますが、業界における最終処分量は、産業界全体の0.3%に過ぎず、最終処分率についても努力目標の限界に近づいている状況であります。

産業廃棄物の最終処分量と最終処分率の推移

